

決算質疑



3名が登壇 平成15年度決算を問う

揚張 正議員

福祉タクシー券

助成事業について

問 平成15年度浜岡町一般会計決算の中で、福祉タクシー券助成事業について平成14年度浜岡町9月定例議会において、利用状況の乱れの改善を指導していくとの報告がありました。改善はなされたか。又、全対象者に対する利用の割合はどの位か

答 平成15年度の浜岡町全体の対象者は3,875人のうち申請者は2,197人で56・7%です。一人当たりの平均使用枚数は11・6枚年間最高48枚なので25%約4分の1を使ったことになります。15年度は合併のすり合わせ等があり、単年度に改善は行いませんでした。本年度は、均一した利用観点から、住所、氏名、生年月日、性別を印字し受給者証を1冊のチケット方式にまとめました。

問 月別の利用状況はどうなっているか

答

月	利用枚数	月	利用枚数
4月	2,400枚	10月	2,042枚
5月	2,323枚	11月	1,849枚
6月	2,488枚	12月	2,030枚
7月	2,318枚	1月	1,801枚
8月	2,153枚	2月	1,883枚
9月	2,048枚	3月	2,549枚
		計	25,584枚

以上のようになっています。昨年同様3月分が多くなっております。

公民館運営費

補助金について

問 各公民館の申請により、最高300万円の事業補助をすることになったが、申請方法は、また、浜岡地区、御前崎地区では、公民館の運営や活動内容が異なっているが、今後どのような方法を考えているか

答 4月以降実施した事業も含め事業費の3分の2を補助し300万円を限度とする。対象として、地域の課題に対する学習会、文化、教養、健康等に関する事業、青少年の健全育成、触れ合いを深めるイベント等が考えられる。申請手続きは、補助金要綱の中で決定をしたい。合併により浜岡方式に倣い、御前崎、白羽の6町内会を1館ごととし、2館体制で公民館運営協議会を発足し、運営方針、活動内容を審議して頂いている。今後、公民館長会議、関係方面の意見を十分にお聞きし、検討をしていきたい。